

靴

取り外しのできるリボン飾りがついた
そんな靴を持てると、そして
赤い靴が欲しいのと、目の前にある
真赤にうつむく靴を手にとってみる
それはリボン飾りが取れなかったけど

君が横に立っている、それだけで
胸が一杯になってたそのときの僕には
気付くことのなかった君の音色が
今、遅まきながらふと聞こえてくる
走りづめだった僕は、今、歩いている

今、君はどこまで歩いているだろう
先へどんどんと遠ざかり、僕は
かつて君が居た場所をゆっくりたどり
いつかもう一度君に追いつくことが
いつか追いつくことができるだろうか

(1984.2.22)